

月浦森林公園で 春の訪れ感じる

多彩な植物や野鳥が観察できる月浦森林公園の魅力を知ってもらおうと、「春を楽しむ会」（洞爺湖町とNPO法人森と・水・人ネット主催）が、4月26日同公園で開催されました。約50人が参加して、芽吹き始めた野花や鳥のさえずりなど少し遅い春を感じ取っていました。

同公園は、加藤子爵の別邸跡地を町が整備し、町民みなさんのボランティアで保全してきた公園です。

当日は、NPO法人代表の木村益巳さんが案内し、カタ

クリ、エゾエンゴサク、エゾノリュウキンカなどの咲き始めた野草を観察し、洞爺湖の春を満喫しました。



春を感じながら散策する参加者

5月2日、虻田小学校で、地域ボランティアの皆さんと1年生55名が学校花壇に花を植えました。

洞爺湖町が、平成20年から

地域で学校を支えようと始めた学校支援ボランティア事業の一環で、今回は洞爺湖町内を花とみどりで彩る活動を行っている洞爺湖すみれの会から5人が参加して、いっしょに作業を行いました。

会員らは、「苗の根をやさしく手でほぐして、深植えにならないように」と児童に花の苗の植え方を丁寧に教え、生徒玄関前の花壇は、色とりどりのピオラで春の彩りになりました。

虻小の花壇に春の訪れ 1年生と地域ボランティアが共同で植栽



すみれ会の皆さんの指導を受けて植栽する児童たち

子どもの日の恒例行事「トーヤ子どもの日2013」が、5月5日ネイパル洞爺で行われました。



玉乗りを楽しむ子どもたち

連休中ということもあり、町内外から多くの親子連れらが訪れ賑わいました。

当日は、中学生による吹奏楽、和太鼓などのステージ、ミニブーケ、木のクラフトづくりなどのものづくりコーナー、竹馬、フラフープなどの遊びコーナーなど、趣向こらした遊びが用意され、参加した子どもらは、おもしろい遊びで、ゴールデンウィークの休日を楽しみました。

遊びいっぱい トーヤこどもの日2013

洞爺湖町縄文の日 縄文人の暮らしを体験

5月12日、洞爺湖町縄文の日が、入江高砂貝塚館で開催され、子ども、大人合わせて約60人が参加して、縄文の暮らしを体験しました。

入江貝塚が、昭和53年5月13日に国の史跡として指定を受けたことを記念して8年ほど前から行っているイベントです。

当日は、7種類の体験種目を用意し、勾玉、土偶づくり、ワークシートを屋内で、弓矢体験、銚突き体験、縄文フリスビー、土

偶野焼きを屋外で行いました。子どもたちは、各コーナーを訪れ、縄文体験を楽しみました。



土偶づくりに真剣に取り組む子どもたち

まちのわだい